



平成23年度 北中物語17号

平成23年9月2日

文責:校長 中村 裕子

校長mail yuko-nakamura@staff.gsn.ed.jp

予感 北中美！！

—— 北中の心髄、準備着々と。——

25th Anniversary 「北中体育祭」

昭和62年に第1回が開催されて以来25年、今や、地域に冠たる一大行事となった「北中体育祭」。記念すべき25日の北中体育祭を、来る10月1日(土)に開催いたします。

そして、25年目の節目に際し、体育祭がバージョンアップします。その一部をご紹介しますので、今から10月1日は、北中のために空けておいてください。



生徒の種目(新設や改革した種目の紹介)

- 各学年種目が男女合同に
→男女が力を合わせ、よりダイナミックに！
- 北中スーパーリレー・北中スーパースーパーリレー(新設)
→各学年学級の短距離スーパースターによる男女混合800mリレーです。各学年毎のレースの上位2チームが、体育祭の大トリ競技「北中スーパーリレー」への出場権を得ます。そして、「真の学校一」に決着をつけます。
- 800m・1500m走
→1年生から3年生まで「一発レース」に。学年別着順としますが、真の長距離北中No1が決まります！！(1年生が上級生に勝つ、なんてこともあるかも…)
- ふじおかスーパーリレー(他校リレー)
→昔懐かしいリレー、他校リレーが北中体育祭で復活します。市内の中学校の代表生徒が北中体育祭に集結し、800mリレーで母校の名誉をかけて走ります。無論、本校も代表生徒を送り出します！！他校の生徒も体育祭を盛り上げてくれます。(感謝感謝感謝)



保護者参加種目(多くの保護者様が参加しやすいようにしました)

- 綱引き(小学校区別と教職員団の3チームで対戦)
 - 百足競争(小学校区別と教職員団でのリレーでの対戦)
 - 親子2人3脚リレー(我が子と一緒に)
 - 800m走・1500m走(生徒に挑戦！！)
 - 部活対抗リレー(保護者の部活動対抗のリレー)→親の力を爆発させて！！
- 地区の役員さんが
出場依頼に行きます！
オープン参加種目です。
どしどしご参加を！



「情報モラル」、改めて自分のこととして真剣に取り組んでください

この夏の教育相談時に数件のご家庭から相談があったこととして、「携帯電話の料金がすごいことになっている」「携帯メールをひっきりなしに打っている(きりがいいメール返信)」等々の相談を受けました。これは決して相談してきたご家庭だけでなく、多くの親が抱える悩みのように思います。これら、携帯電話等、情報機器の不適切な使用を「情報モラルの問題」と言います。そして、この相談のようなことでは済まされない問題も出現していて、今や社会問題にもなっています。こういう問題への対応として、児童生徒の携帯電話の使用を禁止する自治体も出てきています。また、各学校では、専門家による学習の機会を設けています。しかし、依然として携帯電話による有害サイト被害やネットいじめの問題等、学校と家庭がしっかり連携していかなければ解決することができない事例が数多く報告されています。

先日も、インターネットのアクセスに関して、「わが子がどんなサイトを見ているかを親が把握している率」の報道がなされていましたが、我が国では、その率は60%台と他国に比べて、かなり低い結果となっていました。IT機器の使用に関して子どもの方が順応力が高く、親の方がついて行けてないという現状もあるようです。インターネットや携帯電話のメディア特性について、まず大人が正しい認識を持ち、子どもにしっかりと情報モラル教育を施していく必要があります。本校でも、折々に指導をしていますが、こういうことの指導は「ご家庭が責任を持って行う」のが通常です。なぜなら、ネット被害に遭った場合は、保護者の判断で警察等に相談することになるからです。さらに、もしネット加害の立場になった場合は、相手側から訴えられるのは本人と保護者であるからです。もっと端的にいうなら、「携帯電話やパソコンを買い与えているのは保護者」なので、当然、その責任は保護者が負うことになります。

なお、本校では、個人を中傷するような、書き込み等が判明した場合は、各機関(教育委員会、警察、メディアセンター等)と連携して、断固たる対応をとりたいと考えています。

「わが子に限って」との思いは当然でしょうが、「子どもを疑う」のではなく、子どもは軽い気持ちで「アクセス」することがあるという認識をもってください。是非、ご家庭でも機会あるごとに、お子さんと「情報モラル」について、親子で会話する場を持っていただきたいと思います。

さらに現在、「子どもに携帯電話を持たせようか」などお考えの方には、「まったくその必要がありません」と強く言いたいです。持たせて後悔している保護者が多数いるということを認識しておいてください。(本校は勤務中の携帯電話使用を禁止しています)

携帯電話やインターネットのトラブル(被害も加害も)未然防止と早期対応が大切です。これからますます情報化社会が進展する中で、子どもたちに本当の意味での情報活用能力を養っていくことが急務であると考えます。

